

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

|      |  |
|------|--|
| 対象部局 | 経済学研究科   |
| 大項目  | 5 学生の受け入れ  |
| 中項目  |  |
| 小項目  | 5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。   |
| 要素   | 求める学生像の明示<br>当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示<br>障がいのある学生の受け入れ方針       |
| 小項目  | 5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。                          |
| 要素   | 学生募集方法、入学者選抜方法の適切性<br>入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性                         |
| 小項目  | 5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。                   |
| 要素   | 収容定員に対する在籍学生数比率の適切性<br>定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応                          |
| 小項目  | 5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的<br>に検証を行っているか。 |
| 要素   |  |

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

| 2009年度に設定した「目標」  | 左記目標の「指標」                              | 進捗評価 |
|--|--|------|
| 1. 経済学部、本学他学部の早期卒業生の経済学研究科への進学推進と後期課程進学者の確保による、収容定員に対する在籍学生数比率の向上をめざす。                       | →学部からの早期卒業による本研究科への受験者数、進学者数、後期課程進学者数。 | C    |
| 2. エコノミストコースについて、本研究科単独カリキュラム運用から、他研究科との連携カリキュラムの運用へ見直し、学部から本研究科前期課程への高度職業人志望の進学者の段階的増加をめざす。 | →社会人学生の受入れ数。                           | B    |
| 3. 高い学力を持った外国人留学生を確保する。  | →外国人留学生の博士課程後期課程進学者数。                  | B    |

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|-------------------|-----------|------|
|                   | →         | ☆    |
|                   | →         | ☆    |

### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

|            |  |
|------------|--|
| ☆ 小項目5.0.1 | (方針)<br>高い学力を持った学生の受け入れの増加<br>(現状説明)<br>1. 2010年度入学に向けて2名の早期卒業申請者があり、2名合格し、経済学研究科に進学した。<br>社会情勢や時代の変化に応じて、研究科の受け入れ方針を明確にしたアドミッションポリシー（高度職業人の育成、研究者の育成など）は検討を開始したところである。  |
| ☆ 小項目5.0.2 | (現状説明)<br>2. 2010年度入試において社会人対象エコノミスト・コース生が7名入学した。博士課程前期課程におけるエコノミスト・コースは需要が大きく、前期課程の志願者27名、合格者11名、入学者11名のうち、エコノミスト・コース生は志願者11名、合格者7名、入学者7名であり、エコノミスト生の入学者総数に占める割合は64%を占めており、ニーズに伴った受け入れであるといえる。<br>3. 外国人留学生博士課程後期課程への在籍者は現在2名であり、更なる増加を目指して諸方策を検討中である。また、後期課程在籍留学生1名は2010年度奨励研究員に選考された。 |
| ☆ 小項目5.0.3 | (現状説明)<br>収容定員修士60名、博士9名に対し、2009年度は修士35名（うち留学生1名）、博士9名（うち留学生2名）である。  |
| ☆ 小項目5.0.4 | (現状説明)<br>経済学研究科委員会および研究科執行部で絶えず実施している。  |
| ☆ その他      |  |

## 《特定6項目データ》

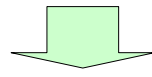
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

| 【経済学研究科】 |                   | 前期/後期課程 | 単位 | 2006   | 2007   | 2008   | 2009   | 2010  | 備考            |
|----------|-------------------|---------|----|--------|--------|--------|--------|-------|---------------|
| 指標1      | 入学者に占める一般入試入学者の比率 | 前期課程    | %  | 52.9%  | 31.3%  | 38.9%  | 64.3%  | 36.3% | 一般入試入学者数÷入学者数 |
|          |                   | 後期課程    |    | 100.0% | 75.0%  | 100.0% | 66.7%  | 0.0%  |               |
| 指標2      | 志願者総数             | 前期課程    | 人  | 34     | 35     | 31     | 24     | 27    |               |
|          |                   | 後期課程    |    | 5      | 5      | 2      | 3      | 0     |               |
| 指標3      | 志願者倍率             | 前期課程    | %  | 113.3% | 116.7% | 103.3% | 80.0%  | 90.0% | 志願者÷入学定員      |
|          |                   | 後期課程    |    | 166.7% | 166.7% | 66.7%  | 100.0% | 0.0%  |               |

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

|            |  |
|------------|--|
| 小項目5.0.1   |  |
| 小項目5.0.2   |  |
| ☆ 小項目5.0.3 |  |
| 小項目5.0.4   |  |
| その他        |  |



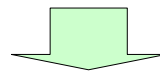
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

|            |  |
|------------|--|
| 小項目5.0.1   |  |
| 小項目5.0.2   |  |
| ☆ 小項目5.0.3 |  |
| 小項目5.0.4   |  |
| その他        |  |

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

|            |  |
|------------|--|
| 小項目5.0.1   |  |
| 小項目5.0.2   |  |
| ☆ 小項目5.0.3 |  |
| 小項目5.0.4   |  |
| その他        |  |



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

|            |  |
|------------|--|
| 小項目5.0.1   |  |
| 小項目5.0.2   |  |
| ☆ 小項目5.0.3 |  |
| 小項目5.0.4   |  |
| その他        |  |

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ☆ その他<br>(自由記述) |  |
|-----------------|--|

### Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○前期課程（修士課程）の収容定員に対する学生数の比率が0.53という低い水準になっており、抜本的な改善策の検討と施策の積極的な実行が求められます。

【学内委員】

○「現状説明」5.0.1の（方針）には本来“学生の受け入れ方針”を記述します。しかし、研究科のアドミッションポリシーが検討中とのことですので、早期の設定、明示が望まれます。

○収容定員充足率の低さが気になります。研究科委員会、執行部での検討により具体的な改善策の策定が望まれます。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ 定員充足率に対する抜本的な改革のひとつとして、学部・大学院一貫カリキュラム（新コース制）の検討を開始し、学部生の前期課程への入学を促進させる。

### Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 5.0.0.S1  | 学生の多様性の確保—入試形態数と入試形態別入学者の割合        |
| 5.0.0.S2  | 各学部の募集人員のうち、一般入試（センター利用入試を含む）の割合   |
| 5.0.0.S3  | 地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数        |
| 5.0.0.S4  | 入試講評（問題と正解、正答率とそのコメント）の公表とその頒布数    |
| 5.0.0.S5  | AO入試の受験者数と入学者数                     |
| 5.0.0.S6  | 社会人学生数（学部別、研究科別）                   |
| 5.0.0.S7  | 専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数           |
| 5.0.0.S8  | 科目等履修生（教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む）の入学者数 |
| 5.0.0.S9  | 聴講生の入学者数                           |
| 5.0.0.S10 | 留学生数（学部別、研究科別）                     |
| 5.0.0.S11 | 国別留学生数（学部別、研究科別）の経年変化              |
| 5.0.0.S12 | 学部における収容定員に対する在籍学生数比率              |
| 5.0.0.S13 | 学部における入学定員に対する入学者比率                |
| 5.0.0.S14 | 編入学定員に対する在籍学生数比率                   |
| 5.0.0.S15 | 博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率 |
| 5.0.0.S16 | 博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率 |
| 5.0.0.S17 | 学部・学科の退学者数                         |
| 5.0.0.S18 | 学部・学科の編入学者数                        |

<個別的な指標>

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |